

総合計画（素案）に係る住民説明会 開催概要

地区名	開催日
青山地区	7月 3日(水)
三木南地区	7月 5日(金)
吉川地区	7月10日(水)
別所地区	7月11日(木)
細川地区	7月12日(金)
志染地区	7月17日(水)
自由が丘地区	7月19日(金)
三木地区	7月24日(水)
緑が丘地区	7月25日(木)
口吉川地区	7月26日(金)

総合計画（素案）に係る住民説明会

1 参加者

- (1) 総数 241人
ア 男性 197人（81.7%）
イ 女性 44人（18.3%）
(2) 内訳

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	2人	12人	38人	58人	69人	53人	9人
割合	1%	5%	15%	24%	28%	22%	4%

2 主な意見

- ・総合計画の「地域の魅力を高めるまち」の中では、地場産業の振興が中心となっているが、産業団地の振興についても考えるべきである。そうすることで、雇用が生まれ、人口も増えると思う。
- ・三木市における外国人への対応として受入れ態勢を進めるのか、もしくは今の市民への支援を優先するのか、いずれにしてもこれから増える外国人への対応を総合計画の中で示す必要があると思う。
- ・総合計画の見直しの際には、しっかりと市民に見直しの内容を伝えて欲しい。また、見直しに当たっては、若い人の意見もしっかり取り入れて欲しい。
- ・新しい施設を造ると経費がかかるので、廃校になった校舎など、可能な限り今あるものを活用していくことができれば良いと思う。
- ・高齢者の自動車事故が増えているため、東京都のように、アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する装置の購入費用を、財源の許す範囲内で補助していただければ、安全安心なまちであるというイメージにつながり、市の魅力の一つとなる。
- ・三木市には、狭い道路が多く事故が多い。安全な道路を造っていただきたい。また、志染駅周辺は、通勤時間帯に非常に多くの車が通る。通学路でもある道なので、子どもたちの安全を確保していただきたい。
- ・チーム三木でつくる総合計画なので、完成したときにはチーム三木の一員である市民誰もが冊子を手にとって読めるようにして欲しい。

- 情報公園都市の開発を進めれば、完成した工場での雇用だけでなく、工場の建設でも雇用が生まれる。そうすれば、近くに住む人が増え人口減少の解消につながるのではないかと思う。
- 基本計画は5年で見直すこととしているが、近年の時代変化の速さを考えると毎年見直す方が良いのではないか。
- 若い人たちをどうやって育てていくのが重要であり、そこに力を入れていただきたい。
- 三木市の人口が半数近くまで減るならば、その途中段階でどのようなことが起こるのか、市民の生活がどのように変わっていくのかを示していただきたい。そうすれば、私たち高齢者も、高齢者として何をなすべきかを考えられる。
- 人口推計について、40年後に4万人を下回ると予測されている人口を5万人に止めるということであるが、この先20年ほどは、生産年齢人口が減り、老年人口の割合が増えている。このような人口構造で財政的に大丈夫なのか。また、総合計画の中で財政面での予測もあった方が市民にとって分かりやすいと思う。
- 農業の分野においてもICTの活用を進め、この地域の生活にもICTを生かすことができるということを子どもたちに体験させてあげたいので、検討していただきたい。
- 生活が不便になっている中で、地域のために頑張ろうという人が減ってきているのはどの地域でも同じであると思うが、そういった方が現れた時には、地域で応援できればと思う。